

学研都市記者クラブ、京都経済記者クラブ、大阪経済記者クラブ
奈良県政記者クラブ、関西レジャー記者クラブ 10:00 同時配付

平成29年 8月24日

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構

先端シズフォーラム

「地域の文化と自然を活かした“観光”を考える」の開催について（ご案内）

関西文化学術研究都市（けいはんな学研都市）では、京都・奈良・大阪にまたがる、京阪奈丘陵に拠点
を設け、文化・学術の振興などを通じてイノベーションを促進し、“新たな産業と都市の発展”につなげ
る取り組みを進めています。この一環として、社会の新たな方向性などにつながる情報についても、積極
的に発信しております。

大阪万博の誘致や東京五輪開催等、新たな世界レベルの催事に向けた準備が各地で進められている一方、
歴史的な文物も多く観光資源に恵まれる関西では、文化や自然に触れる機会も多いことから、“観光“と
”文化や自然とのつながり“について理解を深め、現在の観光産業に不足する点や、今後に望まれる点な
どを考えるフォーラムを企画しました。

当機構としては、自然や文化を大切にしつつ、新たなテクノロジーを用いた観光のあり方などを考える
ことを通じて、多くの参加者にとり、新たな産業の芽につながる示唆を得る機会となることを期待してい
ます。

<フォーラムの概要>

【日 時】 平成29年9月7日（木）13：30～17：00
（13：00開場・受付開始）

【場 所】 中之島センタービル 29階 関西経済連合会 会議室
（大阪市北区中之島6-2-27）

【参加費】 無料

【募 集】 定員100名 8月31日（木）お申込み締切り
（お申込み先着順とさせていただきます。）

《フォーラムの詳細な内容とお申込みはこちらから》

<https://www.kri.or.jp/contact/sentanseedsforum0907.html>

【開 催】

主催：（公財）関西文化学術研究都市推進機構
共催：（公社）関西経済連合会
後援：（国大）奈良女子大学 社会連携センター
（公大）奈良県立大学
京都市歴史資料館、観光学術学会

【主な内容】

別紙資料をご参照ください。

<本件に関するお問合せ先>

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構 <https://www.kri.or.jp/>
新産業創出会員事業室（担当：樹下）
TEL：0774-98-2277
E-mail：t-kinoshita@kri.or.jp

先端シーズ
フォーラム

30th
KEIHANNA SCIENCE CITY

けいはんな
学研都市



地域の文化と自然を活かした “観光”を考える

参加費無料

平成29年9月7日(木) 13:30~17:00
(13:00開場)

開催場所 / 中之島センタービル 29階 関西経済連合会 会議室
(大阪市北区中之島6-2-27)

講演1: 13:35~14:25

「自然資源の観光利用の経過と今後
～国立公園などを例に～」

講師: 水谷 知生 氏

(奈良県立大学 地域創造学部 教授)

講演2: 14:30~15:20

「まつりと観光
～祇園祭の後祭復興を中心に～」

講師: 村上 忠喜 氏

(京都市歴史資料館 担当係長)

プレゼンテーション: 15:30~16:00

パネリスト: 藤本 弘道 氏

(株式会社ATOUN 代表取締役社長)

「“Old Meets New” で創造する
新たな観光資源」

パネリスト兼コーディネーター: 内田 忠賢 氏

(奈良女子大学大学院(人文科学系) 教授
観光学術学会評議員 他)

「イベント・レジャー・サイトシーイングの
地域文化論」

パネルディスカッション: 16:00~16:50

テーマ

「新たな観光の姿を考える

『こんな観光 in 関西』」

サブテーマ

- ① 関西「広域」の持つ観光資源を活かす展開
- ② 最新のテクノロジーの活用や海外での事例

<パネリスト>

水谷 知生 氏 (奈良県立大学 地域創造学部 教授)

村上 忠喜 氏 (京都市歴史資料館 担当係長)

藤本 弘道 氏 (株式会社ATOUN 代表取締役社長)

<パネリスト兼コーディネーター>

内田 忠賢 氏

(奈良女子大学大学院 教授 観光学術学会評議員 他)

質疑: 16:50~17:00

終了: 17:00

☆ご参加自由 [要予約]

会費制交流会: 17:30~19:00

於: 同29階 (会費2,000円)

主催: (公財) 関西文化学術研究都市推進機構 共催: (公社) 関西経済連合会
後援: (国大) 奈良女子大学 社会連携センター (公大) 奈良県立大学
京都市歴史資料館 観光学術学会

お問合せ: 先端シーズフォーラム事務局 ☎: 0774-98-2277 ✉: forumannai@kri.or.jp

ご参加申し込み(8/31締切)

大阪万博の誘致や東京五輪開催等、様々な催事に向けた準備が各地で進められています。一方、関西は歴史的な文物が多く、他地域よりも観光（文化に触れる）資源に恵まれています。

今回“観光”を通じて文化への理解を深めることについて、有識者のお話を聞くとともに、現在の観光産業に不足する点や、今後に望まれる点などを考えます。

奈良県立大学の水谷氏からは、訪日外国人旅行者の増加が謳われていますが、昭和初期に国立公園が設置された時の考え方と似ている部分もあります。その後、自然資源はどのように利用されてきたのか、その経過と今後について考えます。

また、京都市歴史資料館の村上氏からは、京都の祇園祭は、3年前に49年ぶりに後祭が復興し、神幸祭に伴う前祭と、還幸祭に伴う後祭という、中世以来の形式に戻りました。しかし、重要無形民俗文化財である山鉾行事の変更は、当事者（保存会や行政など）には、集客力の維持が可能かどうか大きな賭けでもありました。文化財の側面を持つまつりと観光をめぐる、様々な葛藤・対抗や融和について祇園祭を中心にご紹介をいただきます。

パネルディスカッションでは、人の能力を増幅・補完する機器の開発等を展開している(株)ATOUNの藤本社長も参加し、パワーアシスト技術などのロボット技術を利用した新しい観光資源の可能性も聞きながら、奈良女子大学教授であり観光学会の評議員でもある内田氏にコーディネートいただき、新たな観光の姿を考える機会といたします。多数のお申し込みをお待ちしております。

(※フォーラム終了後、会費制の交流会を開催します。是非ご参加下さい。【要予約】)

- ① 参加費 : 無料
- ② 申し込み : ホームページ、または本票にお名前等ご記入のうえFAXでお申込み下さい。
<https://www.kri.or.jp/contact/sentanseedsforum0907.html>
- ③ 「申込み受付」の電子メールを自動送信しますので、印刷のうえ、当日にご持参ください。(定員100名 先着順)
- ④ お問い合わせ : (公財) 関西文化学術研究都市推進機構 新産業創出会員事業室 (担当: 樹下)
TEL : 0774-98-2277 E-mail : forumannai@kri.or.jp
~ご案内が重複した場合はご容赦ください~

QRコード



「先端シーズフォーラム (H29.9.7) 」 参加申し込み FAX : 0774-98-2202

御所属組織名 :

TEL :

御部署/役職 :

交流会 [会費2000円] (○印) : 参加 ・ 不参加

お名前 :

E-mail* :

(★電子メールアドレスは必ずご記入ください。)



【会場アクセス】

大阪府大阪市北区中之島6-2-27
TEL: 06-6448-1616

<電車でお越しの場合 主な駅>

- * 京阪電車
中之島線「中之島駅」2番出口から徒歩4分
- * 大阪市営地下鉄
千日前線「阿波座駅」9番出口から徒歩8分
中央線「阿波座駅」3番出口から徒歩10分
- * JR
東西線「新福島駅」から徒歩11分

<乗用車でお越しの場合>

駐車場をご用意していません。
会場付近の有料駐車場に駐車してください。

**※詳しい会場へのアクセスは、
ホームページをご参照ください。**

発表内容の概要



水谷 知生 氏((公大)奈良県立大学 地域創造学部 教授)

タイトル : 「自然資源の観光利用の経過と今後ー国立公園などを例にー」

【概要】

訪日外国人旅行者の増加が謳われていますが、昭和初期にも外客誘致政策が進められました。その時期には国立公園が設置され、自然資源の本格的な観光利用が開始されます。その後、現在に至るまで自然資源はどのように捉えられ、利用されてきたのか、その経過を明らかにするとともに、今後について考えたいと思います。



村上 忠喜 氏(京都市歴史資料館 担当係長)

タイトル : 「まつりと観光ー祇園祭の後祭復興を中心にー」

【概要】

7月の京都の町を彩る祇園祭は、2014年から49年ぶりに後祭が復興し、神幸祭に伴う前祭と、還幸祭に伴う後祭という、中世以来続いてきた形式に戻りました。重要無形民俗文化財である山鉾行事の変更は、当事者(保存会や行政など)にとって集客力の維持が可能かどうか大きな賭けでもありました。この祇園祭の一大変更を中心の素材として、文化財としての側面をもったまつりと観光をめぐる、様々な葛藤・対抗や融和についての話題を紹介します。



藤本 弘道 氏(株式会社 ATOUN 代表取締役社長)

タイトル : 「"Old Meets New" で創造する新たな観光資源」

【概要】

株ATOUNでは、2003年の創業以来、力の面での障壁が無い“パワーバリアレス社会”の実現を目標に、人の運動能力をアクチュエータのパワーや制御技術で増幅(または補完)するパワーアシスト機器の事業開発を行っています。一部の作業現場において作業補助を行うパワーアシストスーツを製品化しています。パワーアシスト技術などのロボット技術を利用した新しい観光資源の可能性についてお話しします。



内田 忠賢 氏((国大)奈良女子大学研究院教授 観光学術学会評議員 他)

タイトル : 「イベント・レジャー・サイトシーイングの地域文化論」

【概要】

今回のパネルディスカッションの進行を務めます。水谷氏からは、国立公園や世界遺産をはじめとする「環境と文化資源」、「地域の魅力」について、また、歴史文化財の最前線で活躍される村上氏からは、「文化財の保護と活用」について学ぶことができ、それと同時に「博物館等における学芸員の仕事」への理解も深めてもらえると思います。お二人のご講演に対し、ものづくり現場におられる藤本氏から、新たな視点の貴重なコメントを聞くことができると思います。そして、フロアの参加者の皆さまからの活発な意見や質問への回答を通じて、有意義な時間となることを期待しています。